

# 岡山県感染症週報 2013 年 第 45 週 (11 月 4 日～ 11 月 10 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

12 月 1 日は世界エイズデーです。

## ◆2013 年 第 45 週 (11/4～11/10) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第 44 週 2 類感染症 結核 2 名 (60 代 男 1 名、70 代 男 1 名)

第 45 週 2 類感染症 結核 3 名 (50 代 女 1 名、70 代 男 1 名、80 代 男 1 名)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3 名

(O26 : 幼児 男 1 名、20 代 男 1 名、30 代 女 1 名)

4 類感染症 レジオネラ症 2 名 (60 代 男)

5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (60 代 男)

### ■定点把握感染症発生状況

○RS ウイルス感染症は、県全体で 49 名 (定点あたり 1.11 → 0.91 人) の報告があり、前週より減少しました。

○インフルエンザは、倉敷市で 4 名、備中地域で 1 名の報告がありました。

## 【第 46 週 速報】

○11 月 13 日、総社市の幼稚園で、今シーズン初となるインフルエンザとみられる臨時休業がありました。

○第 45 週の倉敷市の患者 2 名から、AH3 型のインフルエンザウイルスが検出されました。

- 12 月 1 日は『世界エイズデー』です。『恋愛の数だけ HIV を語ろう』  
岡山県では『世界エイズデー (12 月 1 日)』の関連行事として、エイズに関する正しい知識についての啓発活動及び夜間等の HIV 抗体検査を実施いたします。詳しくは来週以降に特集を掲載する予定となっていますので、そちらをご覧ください。
- 腸管出血性大腸菌感染症**は、第 45 週に 3 名の発生報告がありました。岡山県のこれまでの報告累計は 77 名となり、第 39 週から 7 週連続の発生となっています。県では、7 月 10 日に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令し、注意喚起を図っています。手洗い等を徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで火を通すなど、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ「[腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!](#)」をご覧ください。
- RS ウイルス感染症**は、県全体で 49 名 (定点あたり 1.11 → 0.91 人) の報告があり、前週より減少しました。地域別では、美作地域 (1.67 人)、倉敷市 (1.45 人)、岡山市 (1.29 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別累計では、6 ヶ月未満 22%、6-12 ヶ月 25%、1 歳 33% と、1 歳以下の乳児が 80% を占めています。この感染症は、秋から冬にかけて多くの患者が報告されており、今後患者数が再び増加する恐れがあります。全国の第 44 週の発生状況を見ると、定点あたり 1.34 人の報告があり、過去 10 年で最も多くなっています。地域別では、徳島県 (4.78 人)、鳥取県 (3.47 人)、愛媛県 (2.70 人) の順で定点あたり報告数が多くなっており、中国地方・四国地方などの西日本で多くの発生が見られますので、ひきつづき発生状況に注意してください。
- インフルエンザ**は、倉敷市で 4 名、備中地域で 1 名の報告がありました。県内の発生はまだ散発的ですが、手洗い・うがいなど、自分でできる感染予防に努めましょう。定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。ワクチンの在庫及び、予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。  
県内の詳しい発生状況などは、[「インフルエンザ情報」](#)をご覧ください

### 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		—			

【記号の説明】 前週からの推移:

: 2 倍以上の減少     
 : 1.1~2 倍未満の減少     
 : 1.1 未満の増減  
 : 1.1~2 倍未満の増加     
 : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし    ★: 僅か    ★★: 少し    ★★★: やや多い    ★★★★: 多い    ★★★★★: 非常に多い

※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

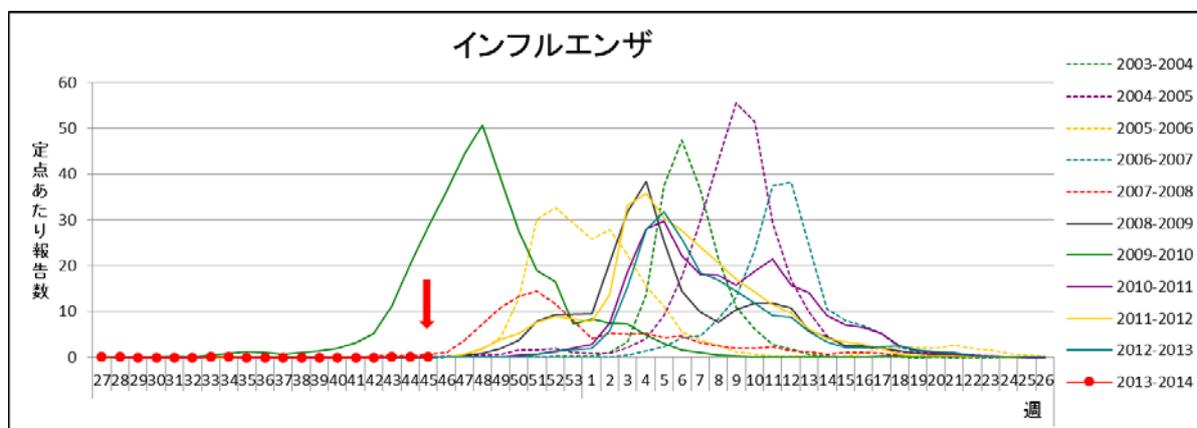
## インフルエンザ情報 2013 年第 45 週 (11 月 4 日 ~ 11 月 10 日)

## ▶ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、倉敷市で 4 名、備中地域で 1 名の発生がありました (84 定点医療機関報告)。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業、入院患者報告はありませんでした。

## 【第 46 週 速報】

- インフルエンザとみられる臨時休業が、総社市の幼稚園でありました (11 月 13 日)。
- 第 45 週の倉敷市の患者 2 名から、AH3 型のインフルエンザウイルスが検出されました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、倉敷市で 4 名、備中地域で 1 名の報告があり、県全体で 5 人 (定点あたり 0.01 → 0.06 人) の発生となりました。県内の発生は、まだ散発的です。

全国集計第 44 週 (10/28~11/3) 速報値によると、全国では定点あたり 0.08 人であり、発生はまだ散発的です。地域別では、沖縄県 (0.78 人)、愛媛県 (0.56 人)、佐賀県 (0.49 人) の順で定点あたり報告数が多くなっていますが、インフルエンザの流行開始の目安となる「定点あたり 1.0 人」を越えている地域はありませんでした。また、全国ではインフルエンザウイルス AH3 型が 35 件、AH1pdm09 型が 15 件、B 型が 11 件検出されており、昨シーズンの同時期同様 AH3 型が最も多く検出されています。

[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)\)](#)

インフルエンザの本格的な流行は、通常 12 月に入ってからといわれますが、全国ではすでに集団事例も発生しており、第 46 週には岡山県内で幼稚園の臨時休業も発生しています。手洗い・うがいを励行し、感染予防を心がけましょう。

## インフルエンザにかからないようにするには

## 1. 飛沫感染、接触感染といった感染経路を断つことが大切です。

- ・外から帰ってきたときには手洗いを心がけましょう。
- ・アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。
- ・流行期には人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用するなどして感染を防ぎましょう。
- ・普段からの健康管理も重要です。栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておくこともインフルエンザの発症を防ぐ効果があります。

## 2. 予防接種も重要です。

- ・予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- ・流行するウイルスの型も変わるので、毎年、定期的に接種することが望まれます。

## インフルエンザにかかったとき、特に気をつけることは

## 「他の人にうつさない」ことが大事です。

- ・せきが出るときはマスクを付け、せきエチケット\*を行いましょう。
- ・同居する他の家族、特に重症になりやすいお年寄りなどにはなるべく接触しないよう心がけましょう。
- ・家族が患者さんと接するときには念のためマスクを着用し、お世話の後は、こまめに手を洗いましょう。

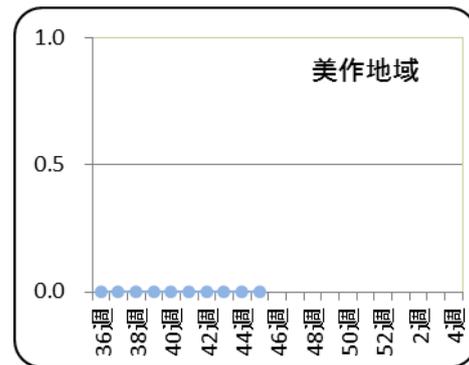
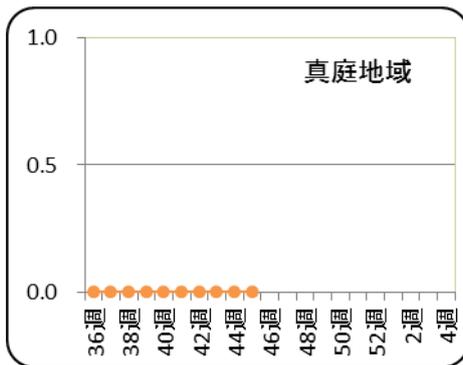
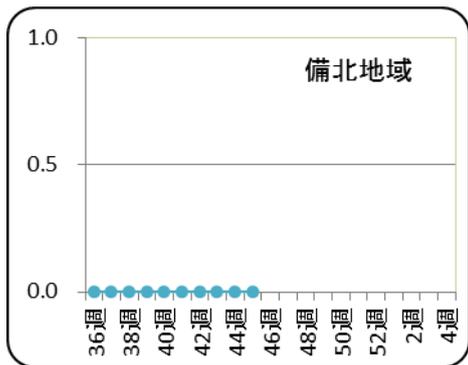
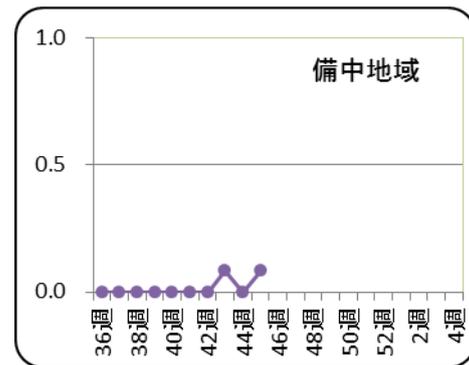
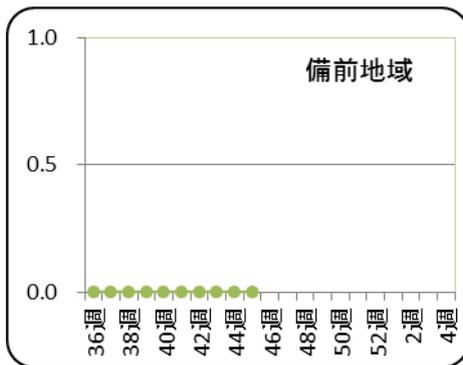
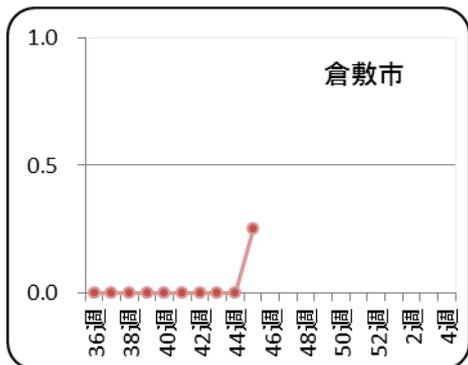
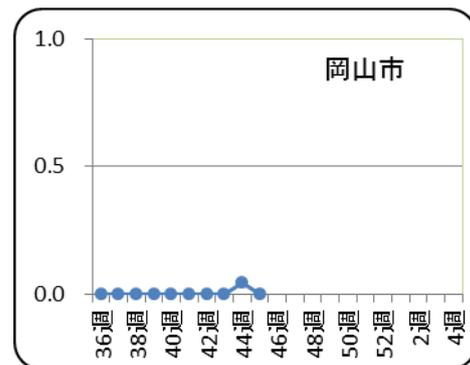
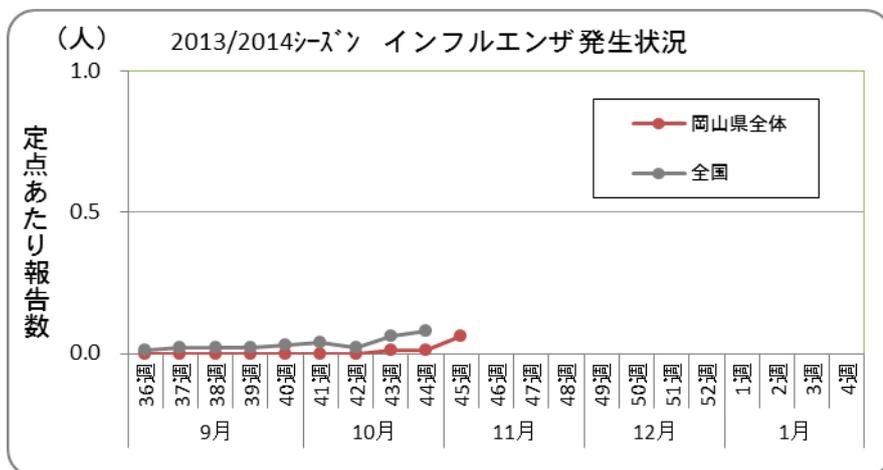
※せきエチケットとは：人に向かって咳やくしゃみをしないことです。とっさにせきやくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。せきやくしゃみがつづく時はマスクを着用してください。鼻水・痰などを含んだティッシュはすぐにナイロン袋に入れて密封したり、ふた付きのゴミ箱に捨て、直ちに手を洗いましょう。

# 1. 地域別発生状況

第45週 前週からの推移 (単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	5	↑	備中	患者数	1	↑
	定点あたり	0.06			定点あたり	0.08	
岡山市	患者数	—	↓	備北	患者数	—	→
	定点あたり	—			定点あたり	—	
倉敷市	患者数	4	↑	真庭	患者数	—	→
	定点あたり	0.25			定点あたり	—	
備前	患者数	—	→	美作	患者数	—	→
	定点あたり	—			定点あたり	—	

【記号の説明】 前週からの推移: 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →  
 1.1~2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑



保健所別報告患者数 2013年 45週 (2013/11/04～2013/11/10)

2013年11月13日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	-	-	4	0.25	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	49	0.91	18	1.29	16	1.45	1	0.10	2	0.29	1	0.25	1	0.50	10	1.67
咽頭結膜熱	7	0.13	1	0.07	2	0.18	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.41	13	0.93	2	0.18	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
感染性胃腸炎	310	5.74	57	4.07	122	11.09	54	5.40	20	2.86	24	6.00	11	5.50	22	3.67
水痘	23	0.43	8	0.57	4	0.36	10	1.00	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	14	0.26	8	0.57	4	0.36	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	27	0.50	17	1.21	3	0.27	2	0.20	3	0.43	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	8	0.15	5	0.36	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2013年 45週 (2013/11/04~2013/11/10)

2013年11月13日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	-	-	4	0.25	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	7	0.13	1	0.07	2	0.18	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.41	13	0.93	2	0.18	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
感染性胃腸炎	310	5.74	57	4.07	122	11.09	54	5.40	20	2.86	24	6.00	11	5.50	22	3.67
水痘	23	0.43	8	0.57	4	0.36	10	1.00	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	14	0.26	8	0.57	4	0.36	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	8	0.15	5	0.36	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2013年 第45週 2013/11/04~2013/11/10 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	5	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-

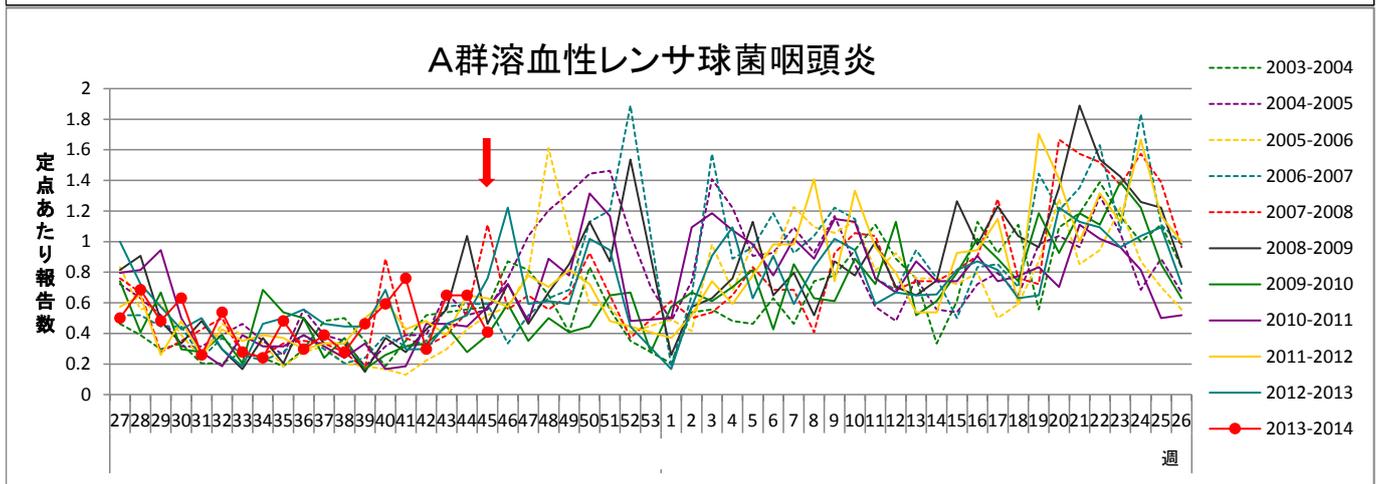
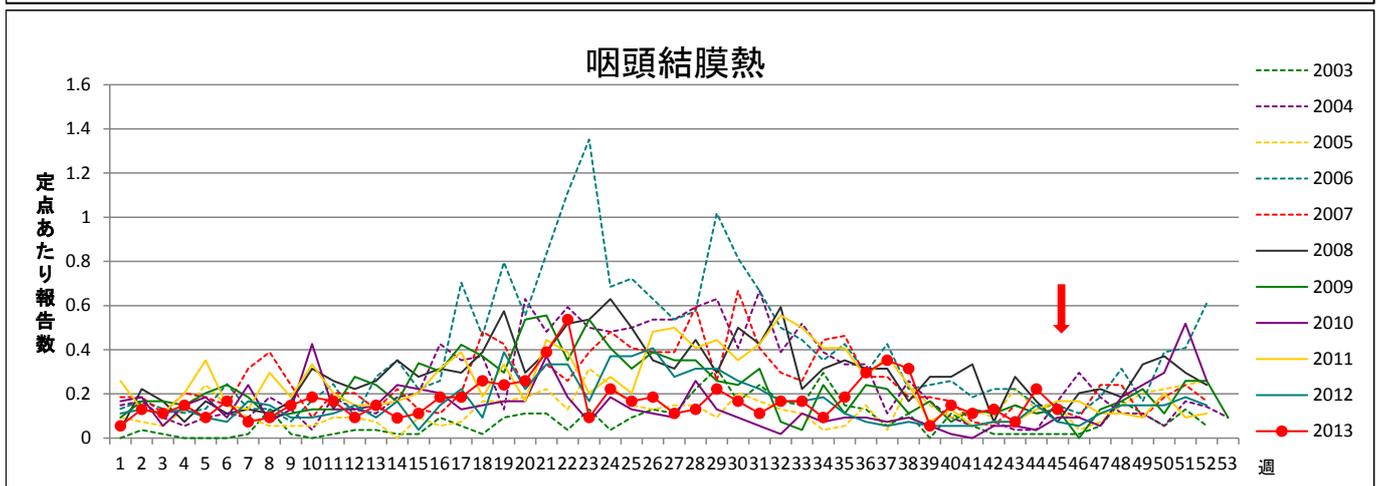
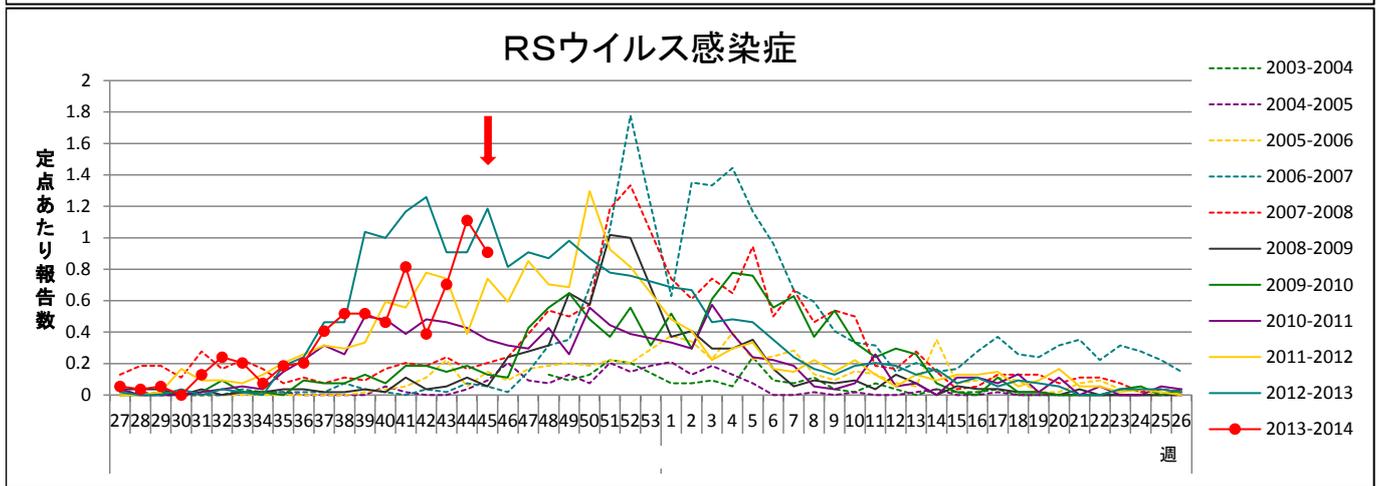
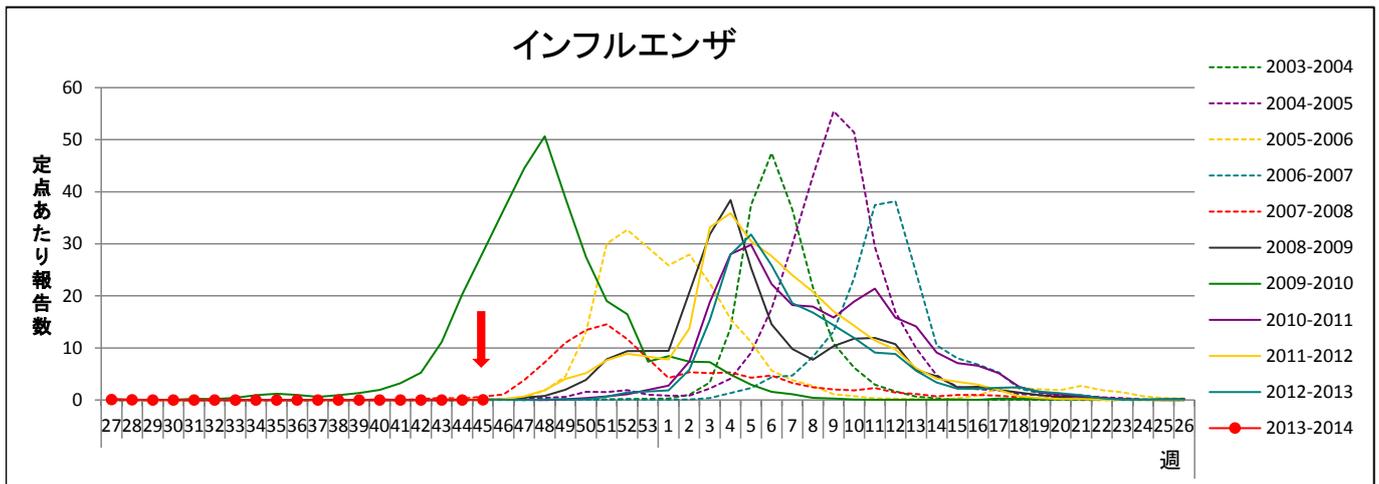
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	49	14	13	15	2	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	7	1	-	1	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	-	-	-	-	2	3	2	4	4	1	1	5	-	-
感染性胃腸炎	310	5	25	42	35	25	30	27	20	22	5	9	28	8	29
水痘	23	1	-	8	4	2	2	1	1	1	-	1	1	1	-
手足口病	14	1	2	3	4	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	27	1	15	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	-	1	1	1	3	1	-	1	-	-

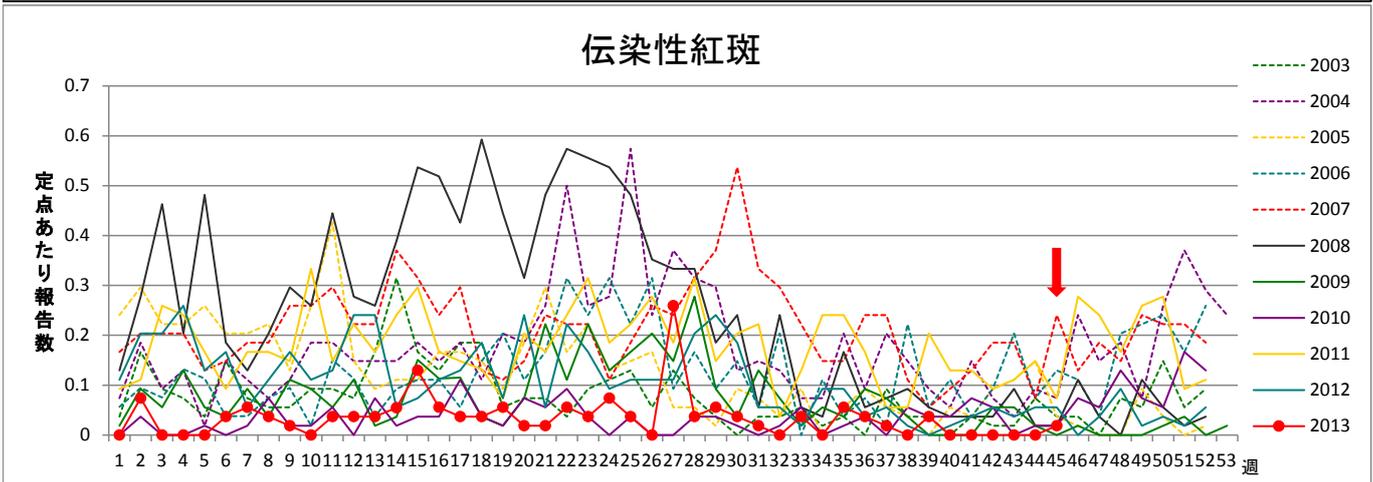
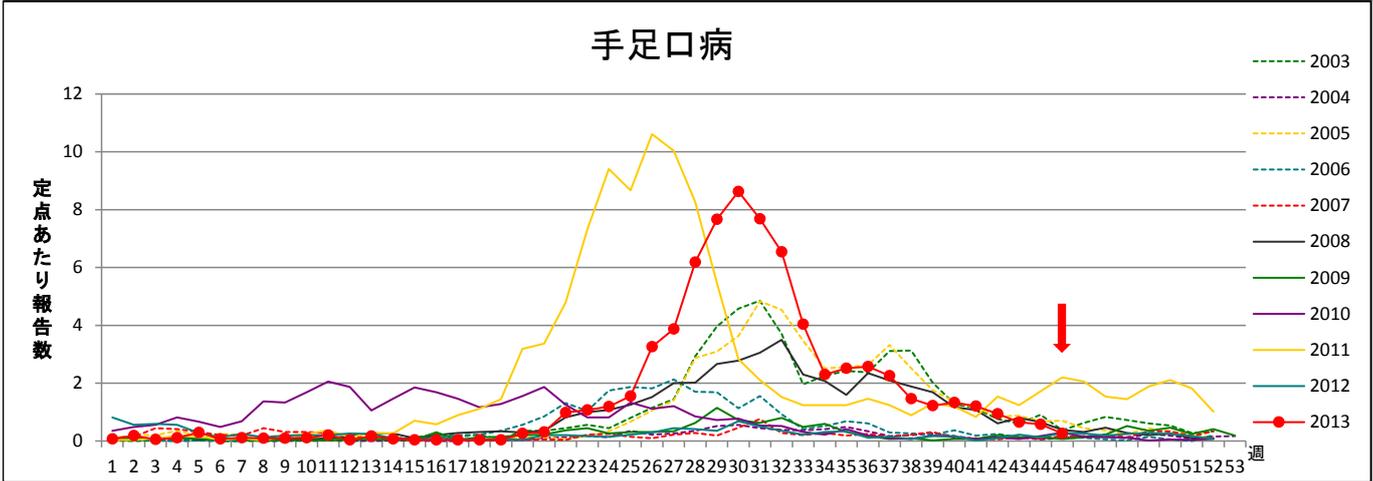
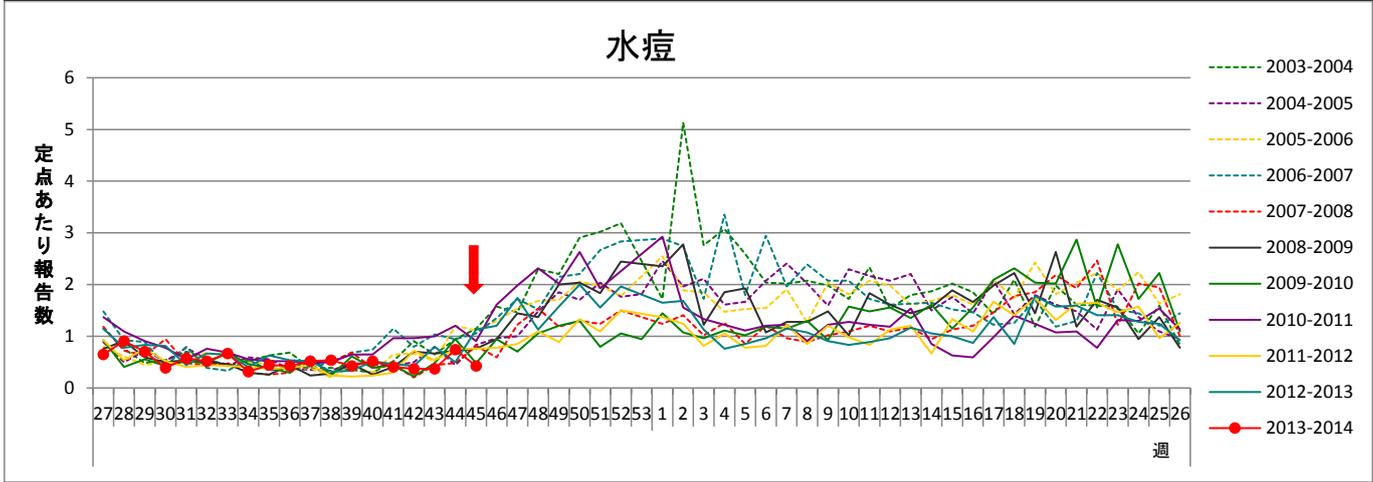
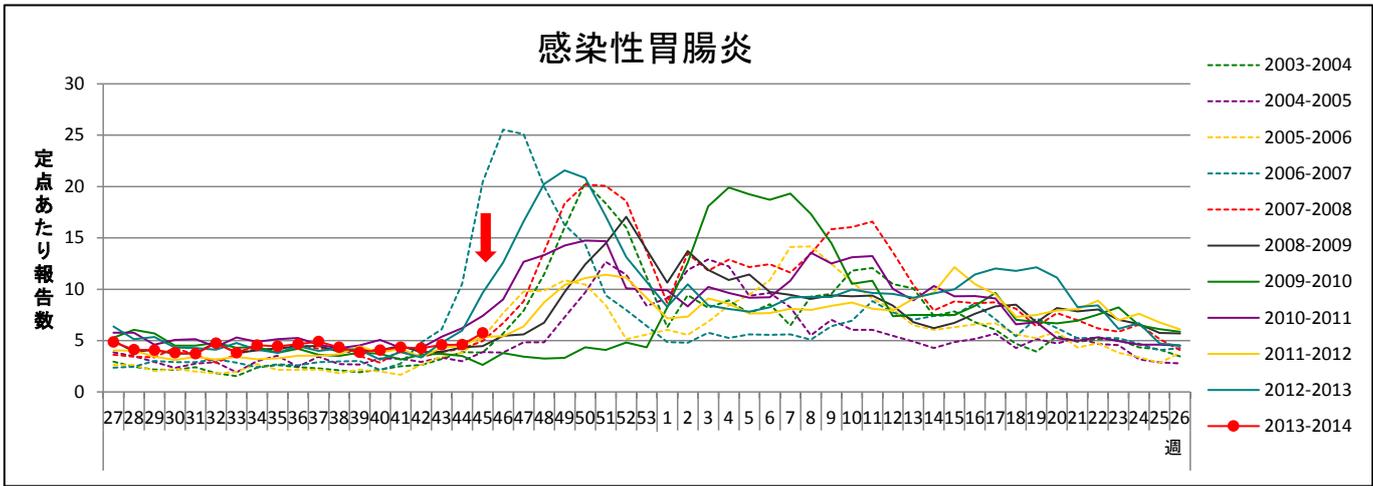
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

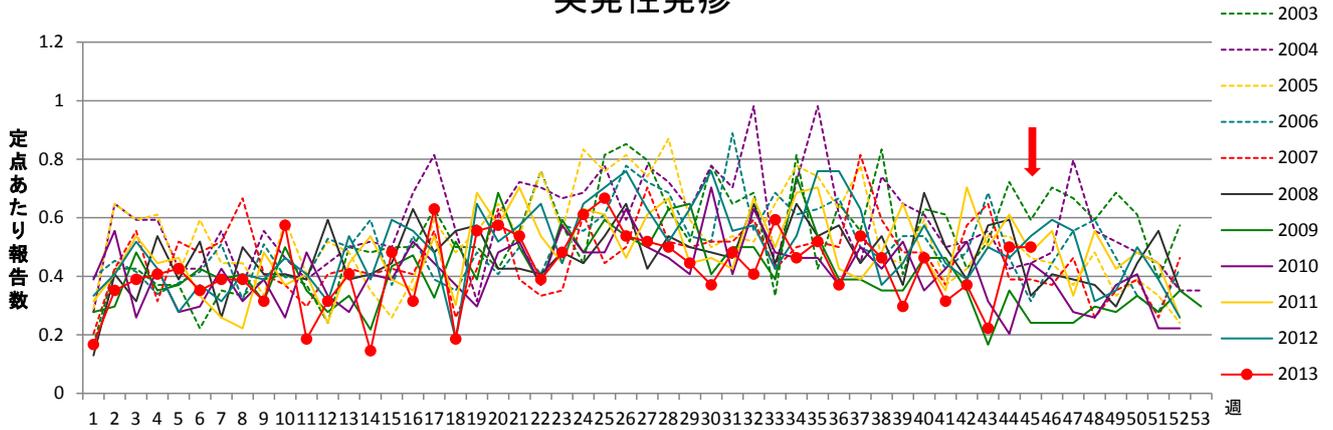
( - : 0 )



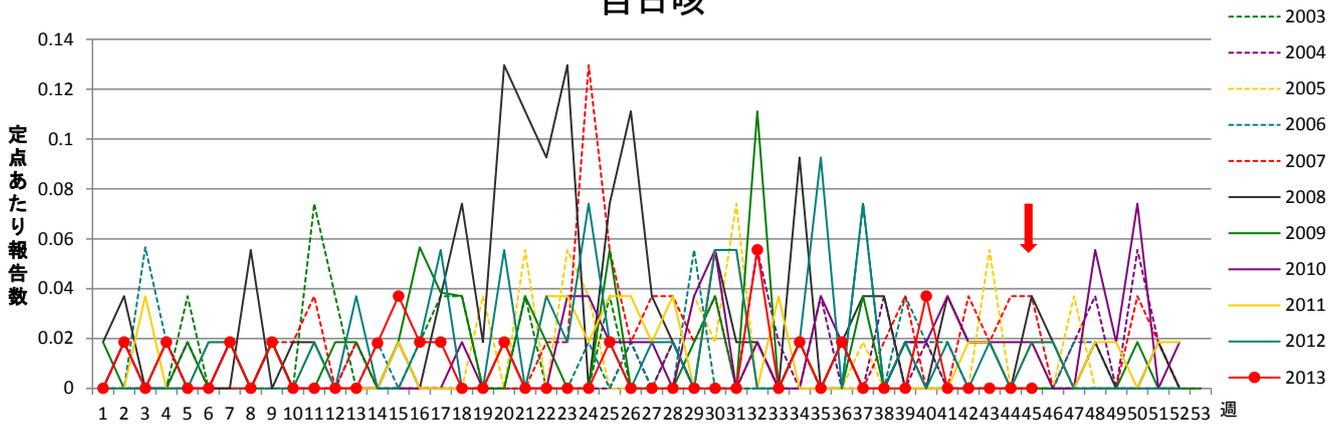




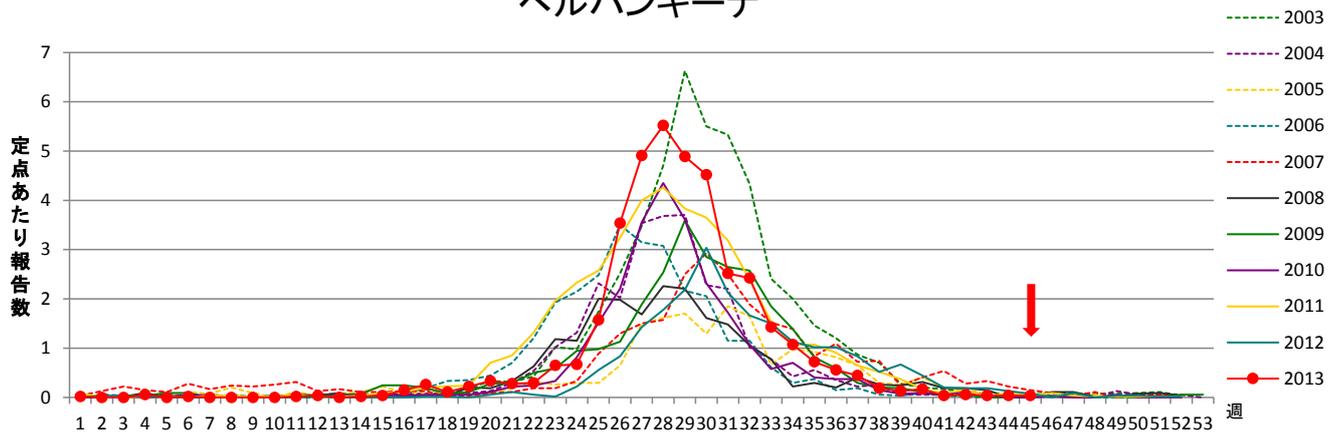
### 突発性発疹



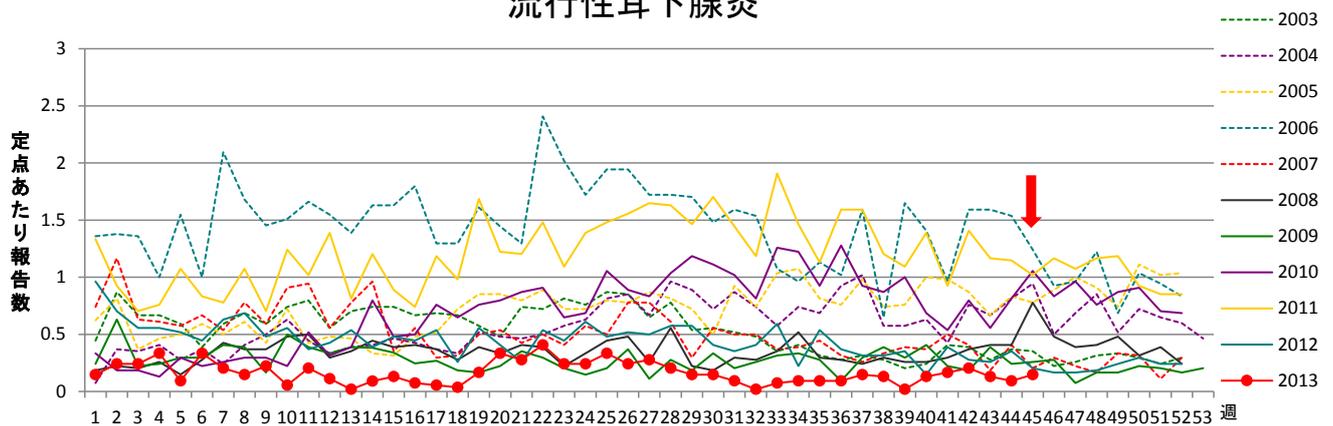
### 百日咳



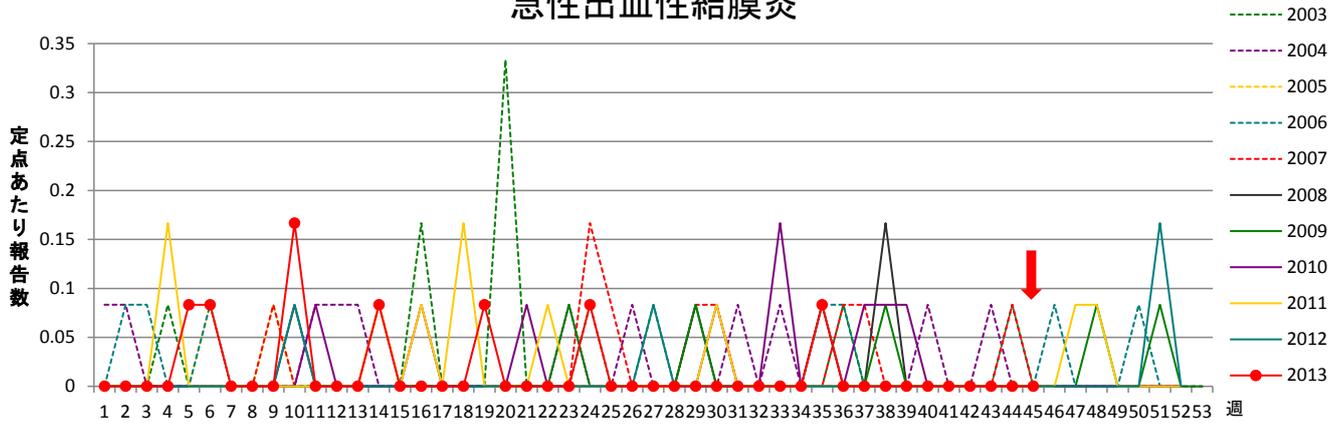
### ヘルパンギーナ



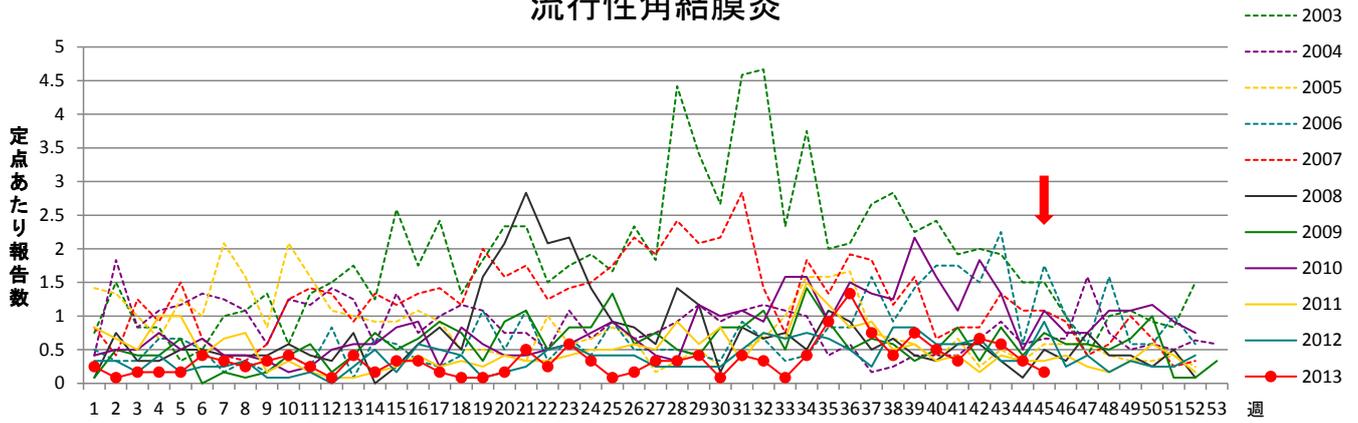
### 流行性耳下腺炎



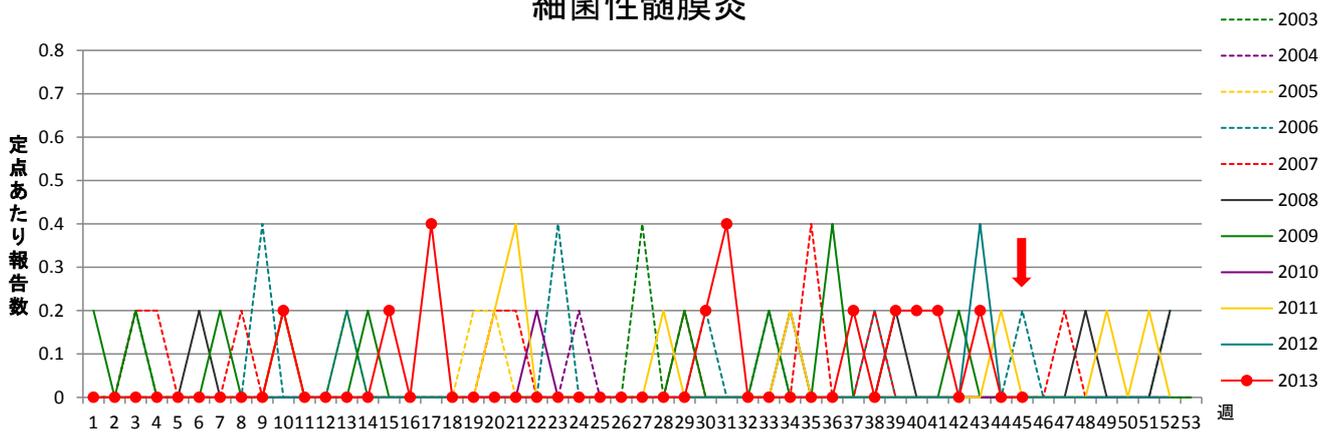
### 急性出血性結膜炎



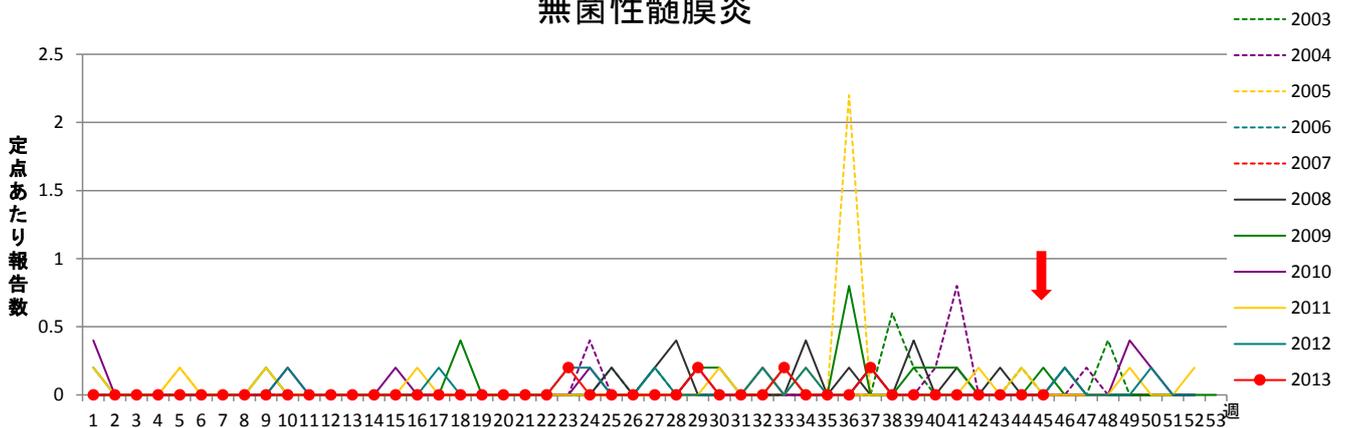
### 流行性角結膜炎



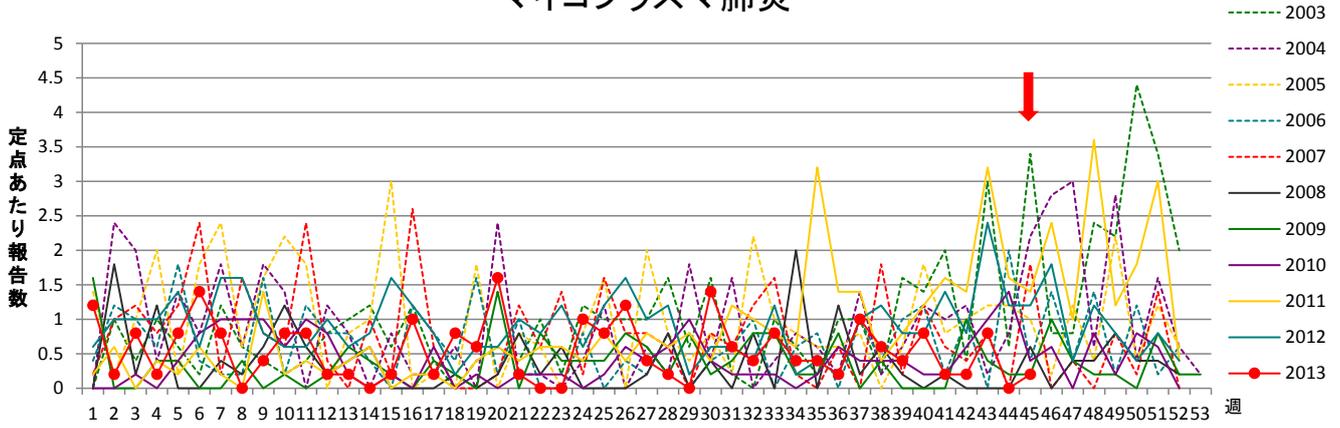
### 細菌性髄膜炎



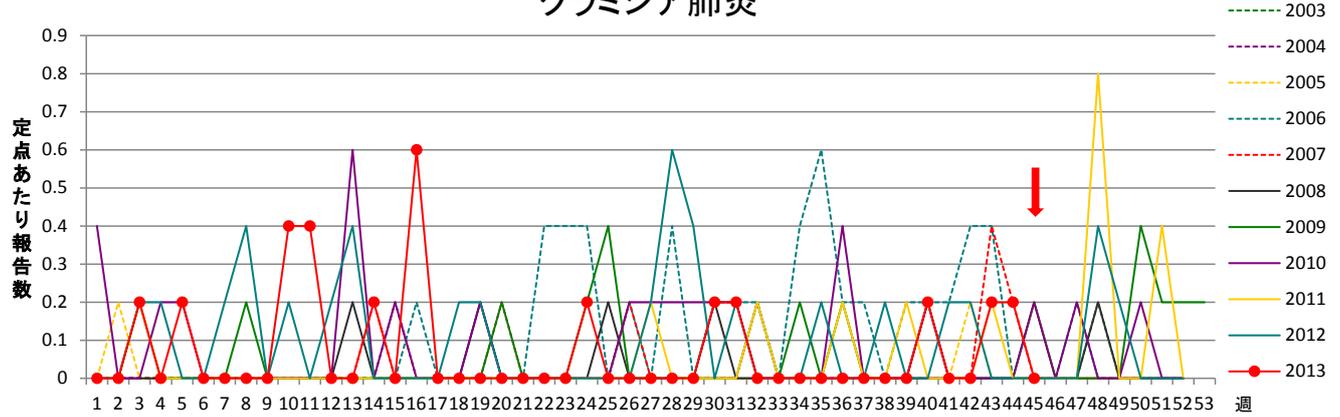
### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### ロタウイルス胃腸炎

